



交通安全事故抑止活動

◆◇◆ 危険予測 ◇◇◆

安全運転には「危険予測」が欠かせません。危険を予測した運転をするためには、日々の運転経験を活かすことが大切です。

安全指導のポイント

皆さんは運転中、こんな経験はありませんか？

道路脇から突然
歩行者が飛び出してきた。



交差点を左折しようとしたら、
自転車が猛スピードで
横断歩道を横断してきた。



注意して運転しているつもりでも、こうした状況があるかもしれません。

こうした状況を回避するためには「**かもしれない運転**」が必要です!!



「もしかしたら歩行者や自転車が飛び出してくるかもしれない。」常に、「**かもしれない**。」と、危険を予測しながら運転しましょう。



注意

決して、「いつも安全だから大丈夫だろう。」と運転経験をマイナスに働かせることのないようにしてください。

かもしれない運転で、交通事故を防ぎましょう。